

「(仮称)歴史と未来の交流館」の 基本設計の概要をお知らせします



「(仮称) 歴史と未来の交流館」 外観イメージ

村では「(仮称)歴史と未来の交流館」(以下「交流館」という)の整備に向けて、「交流館整備基本計画・実施計画」に基づき基本設計(配置・平面・展示計画など建設の基本的な事項をまとめる設計)の作成を進めてきました。基本設計の作成に当たっては、皆さんからのご意見等を参考にしながら、建物面積の削減や外観デザインの変更、より多くの方が利用しやすいようにユニバーサルデザインなどにも配慮しました。

今回、その基本設計がまとまりましたのでご紹介します。なお、展示計画などの詳細は村公式ホームページのほか、生涯学習課(役場行政棟4階)および村内の各公共施設、コミュニティセンターに備え付けの「基本設計(概略版)」をご覧ください。

【問い合わせ】生涯学習課「(仮称)歴史と未来の交流館」整備推進室(☎282局1711 内線1424)

1. 基本設計の方針

交流館は「歴史と未来の交流」をテーマにしています。未来を担う子どもたちに村の歴史や文化財をつなぐとともに、さまざまな体験活動を通して郷土への愛着心を育むことなどを目的にしています。新施設は、その実現に向けて次の4つのゾーンで構成します。

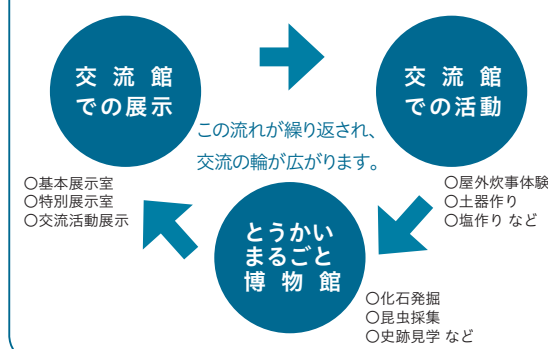
- ① 歴史博物館ゾーン…村の歴史や風土を学び、体感できる場
- ② 子ども未来館ゾーン…子どもたちの体験学習や学びの場
- ③ 交流・共有ゾーン…来館者の交流と多様な活動を促進する場
- ④ 屋外広場ゾーン…多目的に活用できる、自然を活かした憩いの場

2. 施設のコンセプト

4つのゾーンを「活動」を通してつなぐ、コンパクトで機能的な施設構成とし、隣接する文教エリアの各施設(図書館や文化センターなど)とも連携を図ります。また、子どもから大人までが楽しみながら学べる施設とし、「とうかいまるごと博物館」への活動にもつながります。

※とうかいまるごと博物館…村全域を建物のない「博物館」として捉える考え方

【交流館の活用循環イメージ図】



3. 今後について

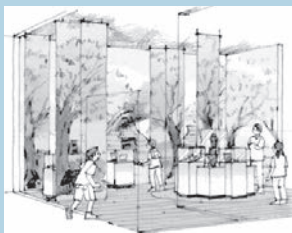
これまで、「交流館整備基本計画」の策定や基本設計の作成経過について、住民説明会や村広報誌等で周知を図ってきました。

今回の基本設計の作成に当たっては、施設の概要や活動内容についての住民説明会や座談会を開催するなど、皆さんと意見交換を行いました。

今後、交流館の整備に向けて、実施設計、建設工事へと進めていく予定です。引き続き、皆さんからのご意見を参考にするとともに、施設整備に対する理解の促進に努め、より良い施設になるように取り組んでいきます。

①歴史博物館ゾーン

収蔵文化財を適切に保存・活用をし、多くの人が村の歴史や風土を学び、体感できるように展示します。

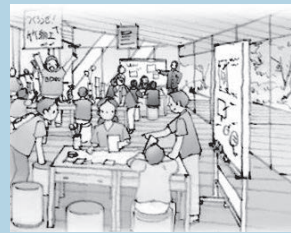


【主な諸室】

基本展示室、特別展示室、調査研究室、資料室、展示準備室、収蔵庫 等

②子ども未来館ゾーン

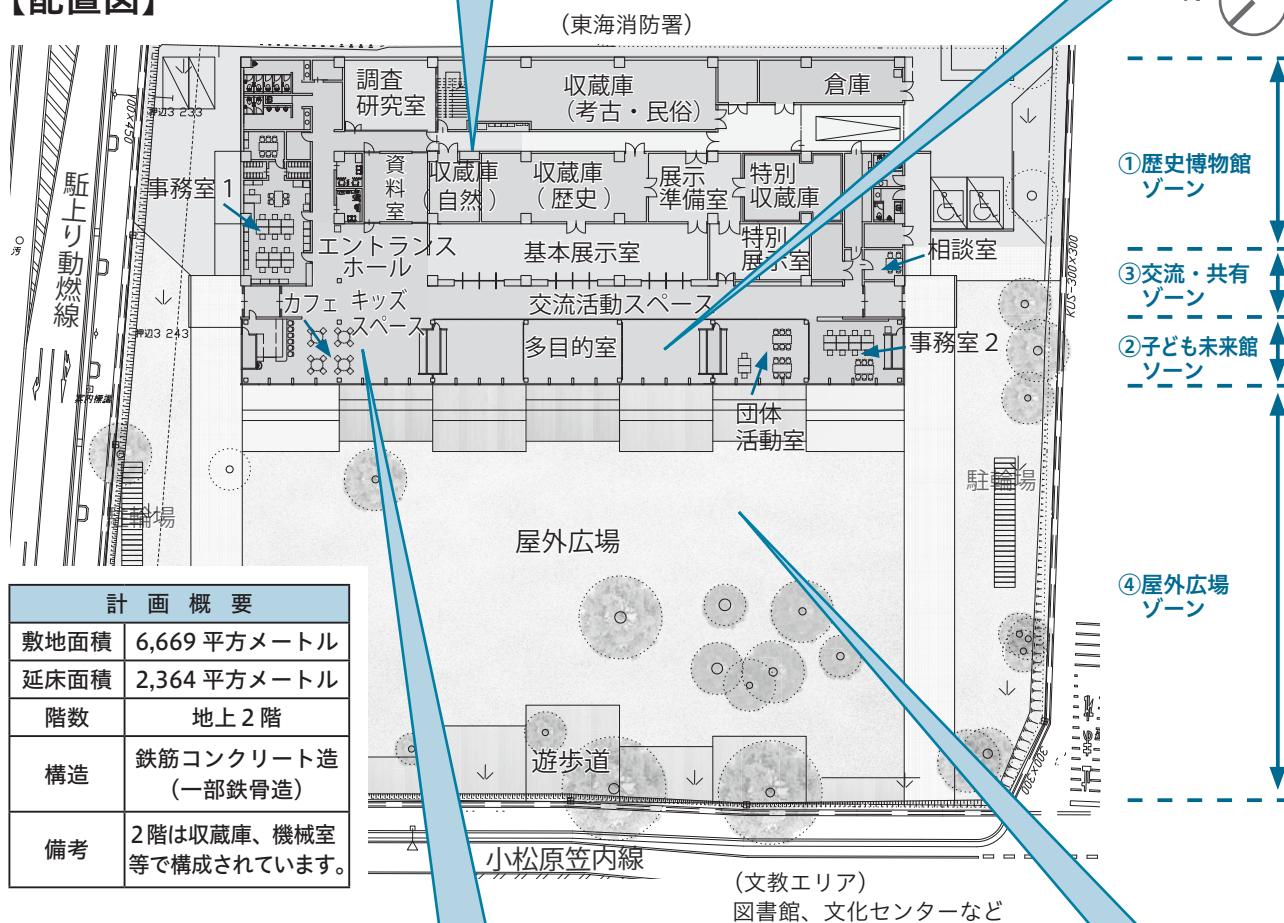
子どもたちの学びをサポートする大人が集い、自主的な活動を支援します。子どもたちの遊びや体験、学習の場としての充実を図ります。



【主な諸室】

多目的室、団体活動室、相談室 等

【配置図】



計画概要	
敷地面積	6,669 平方メートル
延床面積	2,364 平方メートル
階数	地上 2 階
構造	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)
備考	2階は収蔵庫、機械室 等で構成されています。

③交流・共有ゾーン

地域の情報発信や創作活動の作品展示など来館者の交流と多様な活動を促進します。

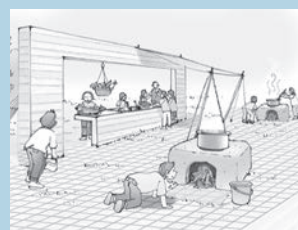


【主な諸室】

エントランス、交流活動スペース、カフェ・キッズスペース 等

④屋外広場ゾーン

自然を活かした自由空間や日常の憩いの場とします。自然体験や屋外ワークショップ、イベントなど多目的に利用します。



※上記の活動の充実を図るため、詳細については実施設計で検討する予定です。